

A. 移植数(着床具を用いたサンゴ移植)

単位(m<sup>2</sup>)

重要海域	旧重要海域	海域名	位置(X-Y)	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	計
再生区5	再生区3	ウラビシ礁地	39-08		21	33	60	60	72	90	60		396
—	再生区4	黒島東礁地	39-05	510	60	94	160	335	335	281	312	960	3,047
—	再生区5	黒島西沈水離礁	35-07	30									30
—	再生区7	小浜島東礁海域	38-13									90	90
—	—	カタグア	46-08				110	90	113	50			363
—	—	新城下池礁地	28-04				80	30					110
計				540	81	127	410	515	520	421	372	1,050	4,036

注)平成17年度移植個数は、平成16年度に採苗したものに平成17年度に設置回収した種苗(2,975個)を追加

C. サンゴ移設(無性生殖法を用いたサンゴ群集の修復)

単位(m<sup>2</sup>)

重要海域	旧重要海域	海域名	位置(X-Y)	H25	計
再生区3	—	シモビシ	41-14	299.2	299.2
計				299.2	299.2

移設元

年度	位置(X-Y)
H25	42-13
H26	46-13(予定)

D. サンゴ礫固定(より有効なサンゴ礁修復技術の手法検討) 単位(m<sup>2</sup>)

重要海域	旧重要海域	海域名	位置(X-Y)	H26
再生区2	—	ミルキーウェイ	44-11	予定
再生区5	保存区3, 再生区	黒島南東	39-02	予定

※重要海域の通し番号は、保存区・再生区別に北から新たに振り直した。

※重要海域については、施行地と重なるまたは周辺にある場合に参考として示した。

※旧保存区3と再生区3は、メッシュで表すと同じメッシュ(新再生区3)内に含まれる。